

美術科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考・判断・技能】

自分のイメージをもとに、ふさわしい方法で工夫し表現する力を身に付けさせる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	・思考力・判断力・表現力 既成のイメージにとらわれやすい。 表現に必要な技能が不足している。	・ワークシートによる発想のトレーニング ・用具の扱い、表現方法の支援（板書や演示） ・小グループによる話し合い（相互に鑑賞）	・单元ごと ・单元ごと ・单元ごと	
第2学年	・思考力・判断力・表現力 イメージを表すための表現技能（スケッチ など）が不足している。	・スケッチ ・板書や演示の工夫 ・ペアやグループによる学び合い	・单元ごと ・单元ごと	
第3学年	・思考力・判断力・表現力 自分のイメージを表現する思考が既習内容 のみに偏ってしまう。	・表現技能の習得（板書や演示） ・ペアやグループによる学び合い	・单元ごと ・单元ごと	

■ICT を活用した授業における改善策

1年 導入で活用しそれぞれの授業の流れ、課題について提示、单元ふり返りの際の端末上のワークシートに記入する

2年 導入で活用しそれぞれの授業の流れ、課題について提示、单元ふり返りの際の端末上のワークシートに記入する

3年 導入で活用しそれぞれの授業の流れ、課題について提示、单元ふり返りの際の端末上のワークシートに記入する